

方向性の検討に向けた魅力と課題の整理

◆ これらの場での意見やアンケート結果を基に、事務局で魅力・課題を洗い出しました

- 東区まちづくりセミナー
 - ・ H31.2.2実施「じゅんさい池と東区のまちづくり」 参加者138名
 - ・ R2.2.16実施「じゅんさい池ってどこ？まちづくりってなに？」 参加者98名
- じゅんさい池ワークショップ
 - ・ R1.6.26実施 参加者45名
- じゅんさい池みらい会議

◆ 本日の協議・作業の流れ

- ① 特性・魅力・課題の洗い出し
事務局でたたき台として洗い出したものについて、他に視点はないか等を協議
- ② それぞれを分類
- ③ 本プロジェクトで今後方向性を検討していく事項の絞り込み

◆ じゅんさい池の特性・特長を踏まえ、魅力と課題について考えます

・ 砂丘湖
・ アカマツ林
・ 都市公園の中に、アカマツ林と砂丘湖の地形を残している
・ 多様／貴重な植物、生物が生息している（（西池）ジュンサイ、タヌキモなどの貴重な水生植物）

課題

◆ 洗い出し

・園芸スイレン等外来植物の繁茂による環境・景観への影響
・ミシシippアカミミガメ等外来生物の繁殖による環境への影響
・園芸スイレン、アカミミガメが外来種ということが知られていない
・貴重な砂丘湖ということが知られていない
・貴重な植物や生物がいるということが知られていない
・湖底に泥やヘドロが堆積している(水質の悪化、溢水のおそれ)
・ヨシ等の繁茂による景観や水質の悪化
・かつて枯渇し、今は工業用水を入れて水位を保っている
・駐車場が不十分
・園内に案内看板が少なく、迷う
・園内のバリアフリー化が必要
・じゅんさい池自体への関心が薄い
・薄暗く、気味が悪いと感じる人も多い
・歴史や伝承が知られていない／語り継ぐ担い手がいない
・地域の役員等が高齢化しており若年層の担い手がいない
・(東池) シダレザクラは持続可能か？
・(東池) ホタルの人工飼育は持続可能か？
・季節の花や設備など公園を楽しむ工夫が不十分
・魚や鳥へのえさやり

<分類>

◆ 検討事項 (案)

① 園芸スイレン、ミシシippアカミミガメ等、外来動植物への対策
② 池 (池水・池の景観) の維持
③ 環境教育や正しい知識・情報等の啓発
④ 魅力のPRと機運醸成
⑤ 公園設備の整備や管理
○
○

